



HVU2

主剤:ビニルウレタン樹脂



用途

- 耐震工事における差筋
- 設備機器設置
- 道路付帯設備設置 (防音壁、カードレール、ETCなど)
- エレベーター設備設置

特長

- ガラスタイプカプセルのような破壊がないのでケガ等の心配が不要
- フォイルタイプでありながら完全密封の四層構造により強度、柔軟性、遮光性に優れ、ガラスタイプ以上の有効期限 (18 ヶ月) を実現
- スチレンフリーで環境に配慮
- 先端形状が、上向き作業時に落下しにくい形になっているので、作業性、安全性が向上

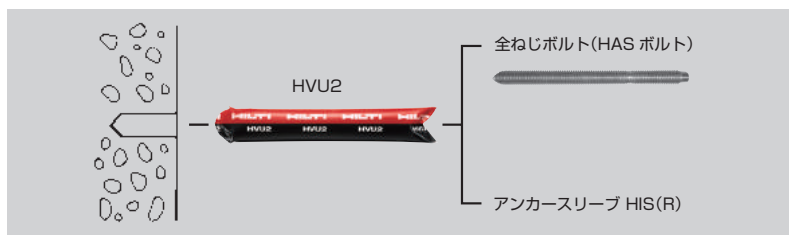
高い作業性と安全性

- 物流コストの軽減、保管スペースの有効活用が図れます。
 - VOC 14 項目は一切含まず、シックハウス対策も万全。
- 硬化後の樹脂は飲料水に対し、一切悪影響を及ぼさないことが証明されています。

各種技術データ・資料

- MSDS 材料安全データシート

※ 各種技術データ・資料をご希望の方は、弊社営業担当者、またはカスタマーサービスにお問い合わせ下さい。
また、ヒルティオンラインより無料でダウンロードできます。



高い安全性、 固着性能の追求

接着系カプセル方式アンカー
HVU2



施工仕様

設計荷重、アンカーピッチ、ヘリあき寸法等については(財)日本建築防災協会監修の「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針」を参照願います。

品名	品番	カプセル長 L _p (mm)	カプセル径 d _p (mm)	HAS-(E) 全ねじボルト			HIS-(R)N 内ねじインサート			小箱入数
				ねじ径	穿孔径 d _c (mm)	穿孔深さ h _c (mm)	内ねじ径	穿孔径 d _c (mm)	穿孔深さ h _c (mm)	
HVU2 M8×80	2164505	105	9.3	M8	10	80	—	—	—	20
HVU2 M10×90	2164506	128	10.7	M10	12	90	M8	14	90	20
HVU2 M12×110	2164507	135	12.9	M12	14	110	M10	18	110	20
HVU2 M16×125	2164508	132	16.9	M16	18	125	M12	22	125	20
HVU2 M20×170	2164509	165	19.7	M20	22	170	M16	28	170	10
HVU2 M24×210	2164560	210	25.7	M24	28	210	M20	32	205	5
HVU2 M27×240	2164561	215	26.8	M27	30	240	—	—	—	4
HVU2 M30×270	2164562	260	31.5	M30	35	270	—	—	—	4
HVU2 M8×80 BULK	2164563	105	9.3	M8	10	80	—	—	—	400
HVU2 M10×90 BULK	2164564	128	10.7	M10	12	90	—	—	—	300
HVU2 M12×110 BULK	2164565	135	12.9	M12	14	110	—	—	—	300
HVU2 M16×125 BULK	2164566	132	16.9	M16	18	125	—	—	—	300
HVU2 M20×170 BULK	2164567	165	19.7	M20	22	170	—	—	—	150

*設計荷重、アンカーピッチ、ヘリあき寸法等については(財)日本建築防災協会監修の「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針」を参照願います。

許容安全荷重

コンクリート圧縮強度 F_c = 21 N/mm²
ひびわれのないコンクリート

●全ねじボルト(HAS-(E)5.8)の場合

	M8	M10	M12	M16	M20	M24	M27	M30
引張 N _{sec} (kN)	9.0	14.3	20.7	33.6	53.3	73.2	89.4	106.7
せん断 V _{sec} (kN)	5.4	8.6	12.4	23.5	32.1	45.8	99.1	120.4

*ただしM27、30はHAS-(E)8.8を使用

●平均耐力は、(財)建材試験センターの試験成績書によります。

☐ = 鋼材破壊

●平均引張耐力Nu,mは、それぞれ異形棒鋼の降伏強度(規格値)を超えています。

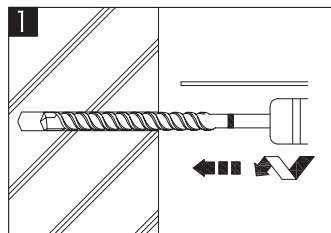
硬化時間

- ゲル状時間(攪拌された樹脂の初期硬化の段階。打設後、ゲル状時間経過後、硬化時間を経過するまでボルトには触れないでください。)
- 硬化時間(初期硬化の段階。硬化が完了してから、ボルトに荷重を架けてください。)

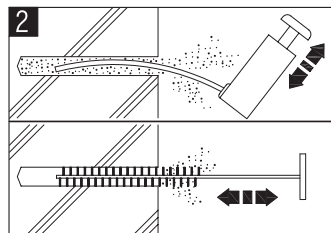
母材温度	-10℃~6℃	-5℃~1℃	0℃~4℃	5℃~9℃	10℃~19℃	20℃~40℃
硬化時間	5時間	3時間	40分	20分	10分	5分

●母材温度が-5℃未満の場合はヒルティの技術担当者にご相談ください。

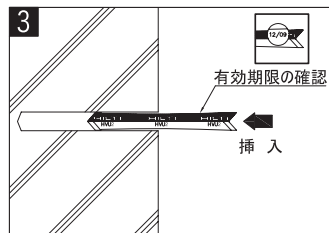
施工方法



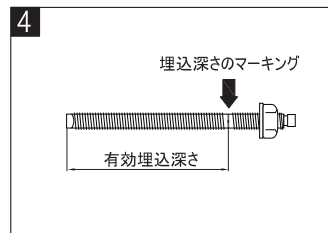
穿孔径、穿孔深さ等の施工仕様を守って穿孔を行ってください。
※施行仕様を変更すると、耐力に影響します。



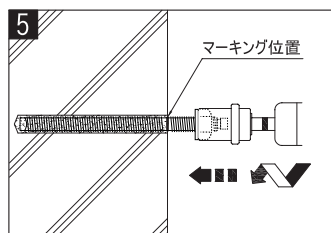
ブラシとダストポンプ等の適切な掃除道具を用いて、切粉がほとんど出なくなる程度まで(3回以上繰り返し)、十分掃除して下さい。
※孔内の掃除が不十分な場合、耐力が低下します。



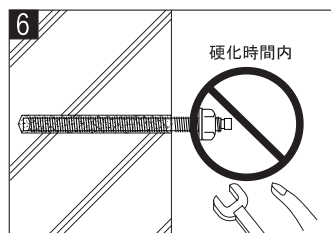
有効期限の確認後、カプセルを挿入して下さい。



アンカー筋に直接埋込深さのマーキングをして下さい。



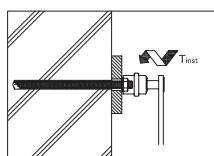
回転+打撃で攪拌し、マーキング位置まで一定のスピードで埋込みます。



ゲル状時間経過後は、硬化時間を経過するまでアンカー筋に触れないで下さい。

締付けトルク

- 硬化時間経過後に取付物を留付けて下さい。



最大締付けトルク(単位:Nm)

M8	M10	M12	M16	M20	M24	M27	M30
10	20	40	80	150	200	270	300

- 注) 1. 移送時: 5~+30℃、保管時: +5~25℃の範囲で取り扱ってください。高温を避け、乾燥した場所に保管してください。
2. 最適なアンカー性能を得るために、施工方法を守ってください。
3. 有効期限切れ、あるいは損傷のあるカプセルは使用しないでください。

母材



ご注意

- ・カタログに掲載されている文章、イラスト、写真を許可なく他に流用したり、複製することはお断りします。
- ・カタログの写真は撮影上および印刷上の諸条件により実物と異なることがあります。
- ・掲載商品のご使用にあたっては、必ず付属の取り扱い説明書に従って正しくお使いください。
- ・海外の画像を掲載しているため、日本の法律・基準に沿わない場合がございます。



日本ヒルティ株式会社
〒224-8550 横浜市都筑区茅ヶ崎南2-6-20

電話 ☎0120-66-1159 ファックス ☎0120-23-2953
www.hilti.co.jp

00272 (2)